

# 施策 1

## 国際・国内海上輸送機能の強化

### 展開1 背後産業を支えるコンテナ・バルク・完成自動車取扱機能の強化・拡充

船舶の大型化が進展する中、パナマ運河の拡張<sup>※8</sup>も進められており、航路の幅・増深などコンテナ物流機能の強化や、自動車産業を支える拠点港として完成自動車ハブ機能の強化・拡充を図ります。また、バルク貨物の安定的かつ安価な供給をめざした国際バルク戦略港湾<sup>※9</sup>施策を推進します。

### 展開2 民の視点によるコンテナターミナルの効率化・サービス向上

港湾運営会社制度<sup>※10</sup>を導入し、コンテナターミナルの一元的な管理運営による効率化を図るとともに、荷役機械などの整備に対する無利子資金の貸付等による港湾コストの低減や民の視点による利用者ニーズに対応したサービス向上をめざします。

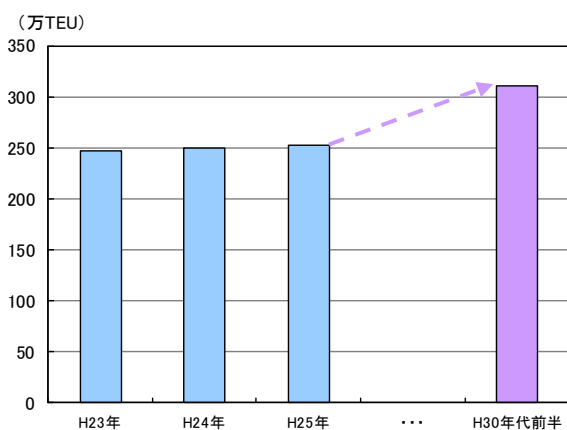
### 展開3 多様な航路サービスの提供に向けた集貨拡大

官民一体となった国内外へのポートセールスや、企業への訪問、背後地域の荷主等への説明会、インセンティブ施策<sup>※11</sup>（優遇措置）等の実施により、集貨拡大を促進し、多頻度・多航路のサービスを維持・拡充します。

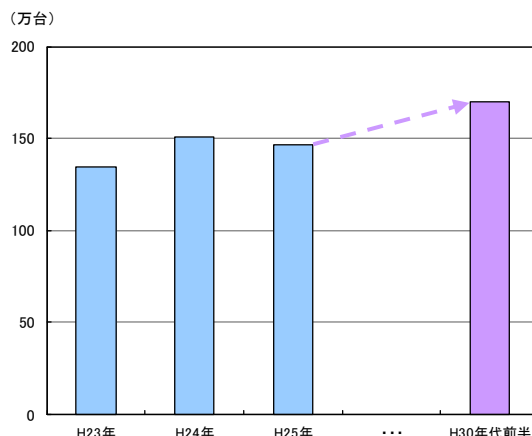
## 成果目標

指 標	初期値（平成 25 年）	目標値（平成 30 年代前半）
外資コンテナ取扱個数	253 万 TEU <sup>※12</sup>	310 万 TEU
完成自動車輸出台数	147 万台	170 万台

\* 目標値の考え方は23ページに記載



名古屋港の外資コンテナ取扱個数



名古屋港の完成自動車輸出台数



※8 パナマ運河の拡張：24ページ「用語の説明・解説」参照

※9 国際バルク戦略港湾：産業や国民生活に不可欠な物資（穀物、鉄鉱石、石炭）の安定的かつ安価な供給を実現するため、国が選定した港湾のこと。平成23年5月に名古屋港は穀物の国際バルク戦略港湾として選定された。

※10 港湾運営会社制度：24～25ページ「用語の説明・解説」参照

※11 インセンティブ施策：25ページ「用語の説明・解説」参照



# 主な事務事業

飛島ふ頭東側コンテナターミナルの機能強化事業			
東南アジア航路のコンテナ貨物量の増加やコンテナ船の大型化に対応するため、既存岸壁の水深15mへの増深・耐震化の整備を行います。			
主な活動・ 成果指標	岸壁改良(-15m)等の 事業進捗(全7工程)	初期値(平成28年度)	1工程(累計)
		目標値(平成30年度)	2工程(累計)

コンテナターミナル管理運営体制の見直し			
名古屋港のコンテナターミナルの管理運営の効率化を図るため、港湾運営会社制度の導入を行い、管理運営体制の見直しを行うとともに、伊勢湾で一つの港湾運営会社による一体的運営に向けた検討を行います。			
主な活動・ 成果指標	伊勢湾における港湾運営会社 の業務開始に向けた検討会議 の回数	初期値(平成25年度)	0回(累計)
		目標値(平成29年度完了)	8回(累計)

ポートセールスの推進			
船会社、荷主、商社等を対象とした利用者懇談会、企業訪問、荷主説明会等の開催や、海外への利用促進使節団の派遣等、国内外において「名古屋港」のポートセールスを行い、港の利用を促進します。			
主な活動・ 成果指標	懇談会参加者数(国内)	初期値(平成25年度)	1,457人
		目標値(平成30年度)	2,054人



**岸壁(改良)  
水深12m→15m(耐震)**

飛島ふ頭東側コンテナターミナルの機能強化事業

東南アジア航路最大級の  
コンテナ船



MOL GENESIS  
(5,605TEU)  
全長 275m  
必要水深 15m

海外ポートセールス(平成29年度)



アラブ首長国連邦  
ジュバルアリ港における意見交換



アラブ首長国連邦  
ドバイでのプレゼンテーション

1

施策

※12 TEU: twenty-foot equivalent unit. 20フィートコンテナ換算でのコンテナ取扱個数の単位。40フィートコンテナの場合は、1個を2TEUで換算する。